

はじめにお読みください。

＜調査の結果をご覧になる方へ＞

各小・中学校では、全国及び埼玉県学力・学習状況調査の結果を、一つの資料として児童生徒一人一人の学習状況と、学校全体で学習への取組状況等を把握しています。また、平均正答率等、学校全体で情報を共有するとともに、分析を実施して自校の取組等の成果と課題を明らかにしています。さらに、その分析に基づき、課題解決のための「学力向上プラン」を点検し、児童生徒の学力向上に係る取組の改善を図っております。



調査の結果とその分析、学力向上に係る取組を、保護者及び地域の皆様にお知らせすることは、学校と保護者及び地域の皆様が情報を共有することを通して、学校の状況をより深く知っていただき、児童生徒の学力向上の取組を一層充実させることにつながると考えます。

このことを踏まえて、調査の結果をお知らせするにあたり、調査の結果をご覧になる方々には、以下の点にご留意くださいますようお願いいたします。

- (1) 次に示す調査の目的等について、ご理解くださるようお願いいたします。
- (2) 平均正答率などの数値だけではなく、学校で分析した結果や学力向上プランをはじめとする学校の取組とあわせてご覧ください。
- (3) 本調査で測れるのは、①調査対象の教科等学力の特定の一部であること、②学校における教育活動の一側面であることをご理解ください。

＜全国学力・学習状況調査の概要＞

※「平成27年度 全国学力・学習状況調査に関する実施要項」(文部科学省)より抜粋

1 調査の目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査対象

小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

3 調査実施日

平成27年4月21日(火)

4 調査の内容

学 理 科  (国語、算数・数 科に関する調査)	主として「知識」に関する問題 (A)	主として「活用」に関する問題 (B)
	① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容 ② 実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 など	① 知識・技能等を実生活の様々な場面で活用する力 ② 様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価・改善する力 など

	【小学校国語A・算数A 各20分】 【中学校国語A・数学A 各45分】	【小学校国語B・算数B 各40分】 【中学校国語B・数学B 各45分】
	【小学校理科 40分】、【中学校理科 45分】	
生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査	児童生徒に対する調査	学校に対する調査
	学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 (例) 国語の勉強は好きですか、授業の内容はどの程度分かりますか、一日にテレビを見る時間、読書時間、勉強時間の状況 など 【小学校・中学校とも20分程度】	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例) 学力向上や学習の定着に向けた取組、習熟度別少人数指導、教育の情報化、教員研修、家庭・地域との連携の状況 など

## 本校の調査結果の概況

国語	A (主として「知識」に関する問題)				B (主として「活用」に関する問題)			
	設問数	本校平均正答率	県平均正答率	全国平均正答率	設問数	本校平均正答率	県平均正答率	全国平均正答率
学習指導要領の領域等								
話すこと・聞くこと	1	45.2%	52.6%	53.0%	0	-	-	-
書くこと	1	95.2%	85.5%	86.0%	6	61.3%	59.7%	61.1%
読むこと	4	52.0%	54.1%	55.2%	6	65.3%	67.0%	68.1%
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	9	76.7%	75.7%	77.2%	0	-	-	-

算数	A (主として「知識」に関する問題)				B (主として「活用」に関する問題)			
	設問数	本校平均正答率	県平均正答率	全国平均正答率	設問数	本校平均正答率	県平均正答率	全国平均正答率
学習指導要領の領域								
数と計算	7	80.4%	78.8%	80.1%	4	35.5%	40.7%	42.4%
量と測定	3	65.6%	68.7%	71.3%	3	36.6%	40.4%	41.7%
図形	4	62.9%	61.4%	64.5%	7	38.0%	43.7%	45.6%
数量関係	2	84.7%	83.5%	84.9%	3	39.8%	41.0%	43.0%

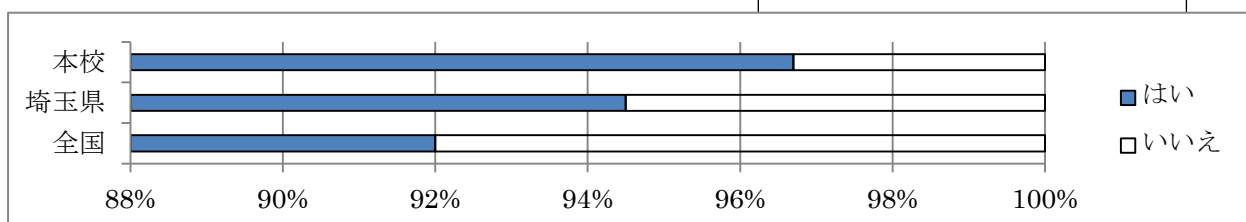
理科					
学習指導要領の区分等		設問数	本校平均正答率	県平均正答率	全国平均正答率
A区分	物質	7	61.1%	55.9%	57.4%
	エネルギー	6	64.0%	63.5%	65.6%
B区分	生命	6	55.6%	59.0%	61.2%
	地球	7	56.0%	57.2%	57.8%

### <児童への質問紙調査> (主なものをグラフで表示)

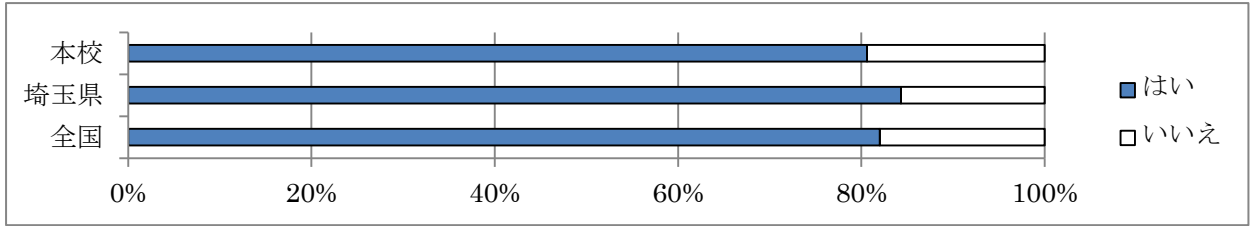
国語の勉強は大切だと思いますか。

はい…そう思う、どちらかといえばそう思う

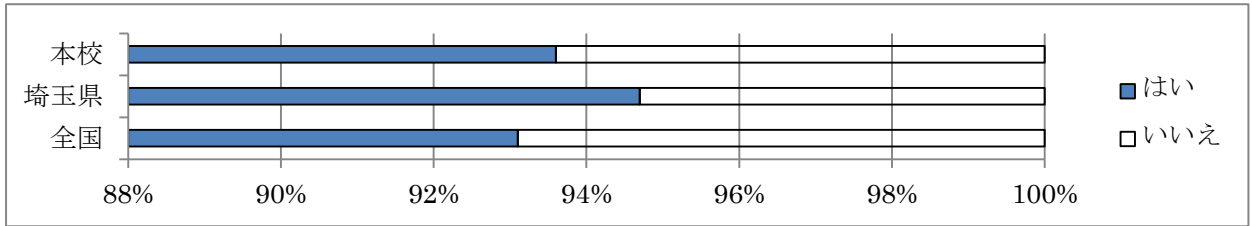
いいえ…そう思わない、どちらかといえばそう思うわない



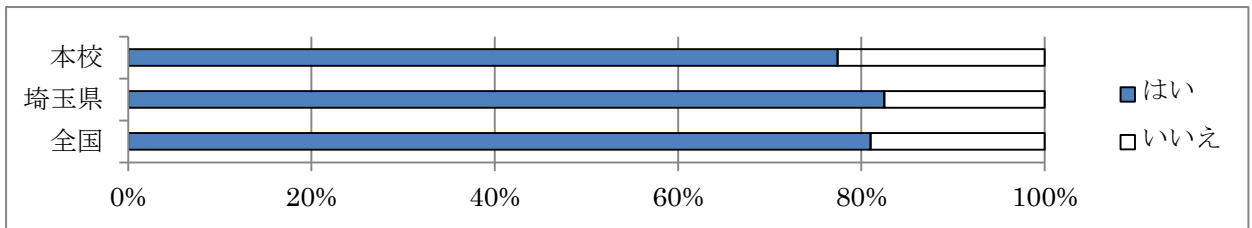
国語の授業内容はよく分かりますか。



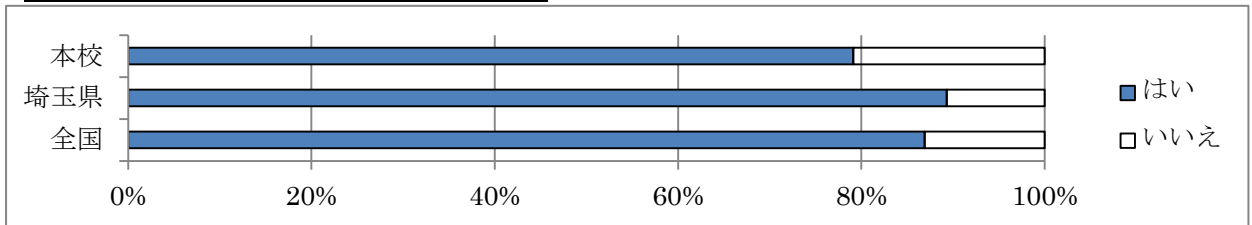
算数の勉強は大切だと思いますか。



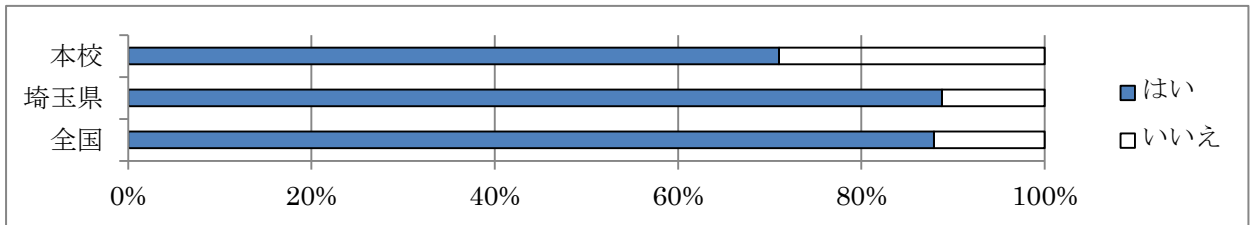
算数の授業内容はよく分かりますか。



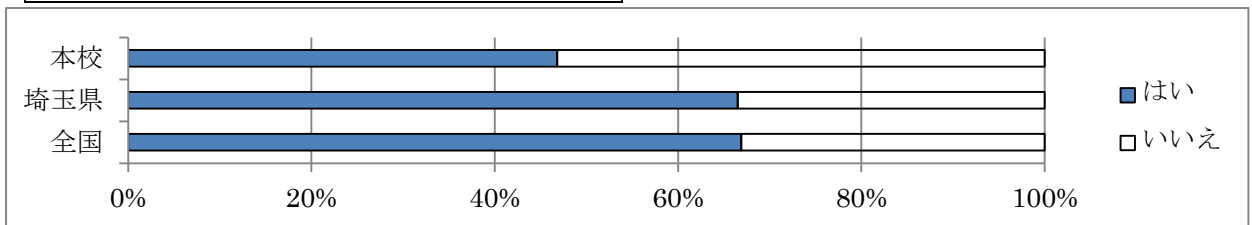
理科の勉強は大切だと思いますか。



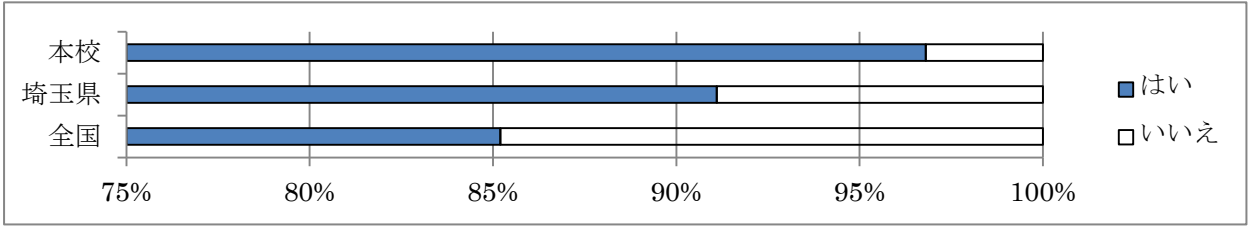
理科の授業内容はよく分かりますか。



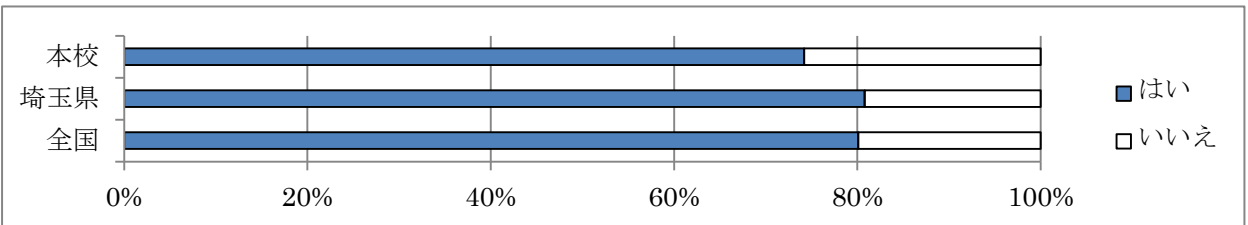
今住んでいる地域の行事に参加していますか。



授業では話し合う活動をよく行っていたと思いますか。



授業以外で読書をしていますか。(「いいえ」は全くしない)



## 本校の調査結果の分析・考察

### <国語A>

#### 【領域別】

《話すこと・聞くこと》《書くこと》《読むこと》《伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項》の4領域のうち、《書くこと》が突出して高い。他の領域は全国平均・県平均を下回っている。中でも《話す・聞く 能力》は8ポイントほどの差があり課題を残した。

#### 【問題1】(正答率：48.4%)

問題(領域〔1学年及び2学年〕伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)  
1と2の文の主語として適切なものを、アからエまでの中からそれぞれ1つ選んで、その記号を書きましょう。

1 降っていた 雨が 急に やんだ。

ア イ ウ エ

2 ぼくの 妹の 誕生日は 五月二日だ。

ア イ ウ エ

正答

1 イ 2 ウ

要因

文法の問題(主語・述語・修飾語等)を解き慣れていない。授業でも学期に1回、2時間程度の扱いであることが多いため、継続した指導ができていない。

改善策

国語タイムや普段の授業で定期的に文法問題を取り扱い指導する。また、作文指導の際、文法に関する指導も必ず行うようにする。

#### 【問題2】(正答率：58.1%)

問題(領域〔5学年及び6学年〕読むこと)

筆者は「子ども読書の日」について、自分の読書体験を交えながら書いています。その体験が書かれているまじまりを、【コラム】の中の1から5までの中から二つ選んでその番号を書きましょう。正答 2 と 4

【コラム】 記事の中の▼は、まじまりを表す印です。

1▼四月二十三日は「子ども読書の日」。世界では「世界の本の日」とも呼ばれている。本とその作者たちを敬うとともに、読書の楽しみを味わう日である。2▼子供のころ、宮沢賢治の「セロ弾きのゴーシュ」に夢中になった。楽団の中で、一番へたなセロ弾きであるゴーシュが、動物たちとの出合いを通して成長していく様子に心がおどった。3▼ある作家の言葉に、「読書というものは、その時その時によって読むの味わいがちがう」というものがある。子供時代に読んだ本を大人になって読み返すと、また別の楽しみが味わえるものだ。4▼先日、「セロ弾きのゴーシュ」を再び読んだ。当時は気付けなかった人物の足事なえがき方やたくみな描写に、賢治のすばらしさを実感した。5▼世界の人々が本について考える日。子供はもちろん、かつて子供であった大人も意心に返って本を楽しむ。そんなひとときもよいものだ。

要因

書かれている内容はほぼ理解しているものの、段落ごとの大筋や段落相互の関係を理解するところまで至っていない。

改善策

学校全体で説明文を読む力の育成に取り組む。また、学校図書館の積極的な活用に取り組むと共に、学校と家庭が連携して本や新聞を手に入る機会を増えるようにする。

## <国語B>

### 【領域別】

《書くこと》《読むこと》の2領域のうち、《書くこと》は全国・県平均を上回った。《読むこと》は全国平均を3ポイント程の差があり課題を残した。

### 【問題1】（正答率：38%）

問題（領域〔5学年〕書くこと・読むこと複合）

【ふれあい新聞】の中に、あやとりコーナーに参加した中田とよさんの感想をのせることにしました。次の【中田とよさんへのインタビューの様子】の内容をまとめて書きます。あとの条件に合わせて書きましよう。

《条件》

- ・理由が分かる言葉
- ・「」を使って取り出し、
- ・《表情や声の様子》の内容を合わせて、
- ・一文で書く。
- ・書き出しに続け40字以上、70字以内で書くこと。

50%の児童が上記条件を満たしていないため、誤答となっている。

理由は取り上げているものの、表情や声の様子を取り上げていない等、複数の条件に合わせ、情報を整理しながら作文することができなかった。

改善策

行事作文等でも段落構成（内容のまとめ）を意識して書くことが出来るよう指導を充実させる。また、目的や意図に応じて複数の情報を的確に関連づけて書くことが出来るよう情報のまとめ方や作文の段落構成が視覚的にもわかりやすく指導するようにする。

## <算数A>

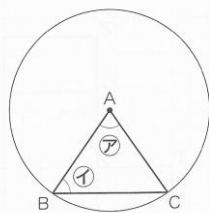
### 【領域別】

《数と計算》《量と測定》《図形》《数量関係》の4領域のうち《数と計算》は全国・県平均を上回ったものの、その他の領域は全国平均を下回る結果となった。特に《量と測定》《図形》の2領域に課題がある。

### 【問題1】（正答率：50%）

問題（領域〔4学年〕図形）

下の図のアの角の大きさが $70^\circ$ のとき、イは何度ですか。答えを書きましよう。



正答

$55^\circ$

要因

見た目と同じと判断し、 $70^\circ$ と解答する児童が28%いた。円の中心から円周までの長さが等しくなり二等辺三角形となることを正確に理解できていなかったと考えられる。

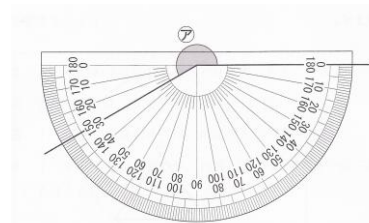
改善策

複数の条件を関連させて思考する問題を単元の終末に行うようにする。基礎基本を身につけた上で学び合う授業を展開する。

### 【問題2】（正答率：50%）

問題（領域〔4学年〕図形）

アの角の大きさは何度ですか。答えを書きましよう。



正答

$210^\circ$

要因

答えの見積もりや見通しを正しくもつことができず、 $150^\circ$ と解答する児童が43%いた。 $180^\circ$ より大きな角であることを理解できていなかった。

改善策

角に限らず授業の中で見積もりや見通しをもつ時間を確保する。

## <算数B>

### 【領域別】

《数と計算》《量と測定》《図形》《数量関係》の全領域が全国・県平均を大きく下回り、大きな課題を残した。特に《数と計算》《図形》に課題がある。

### 【問題1】（正答率：11%）

問題（領域〔5学年〕数量関係）

家で使っているせんざいが20%増量して売られていました。増量後のせんざいの量は480mLです。増量前のせんざいの量は何mLですか。求める式と答えを書きましょう。

正答

$$480 \div 1.2 = 400$$

$$\square \times 1.2 = 480 \quad 400 \text{ mL}$$

要因

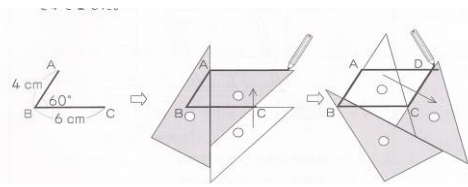
もとになる量、比べられる量、割合の関係を正しく捉えることができていない。

改善策

数直線による指導を充実させ、数量の関係を正しく把握した上で問題解決する授業を展開する。また、定着・習熟を確実にやる。

### 【問題2】（正答率：45%）

問題（領域〔4学年〕図形）



ア 向かい合う2組の辺が平行

イ 向かい合う2組の角の大きさが等しい

ウ 向かい合う辺の長さが等しい

この作図の手順はア～ウのどの特徴をもとにしていますか。正答 ア

要因

作図の手順のみを覚え、どの特徴を活用したものなのか関連づけられていない。

改善策 作図の手順と特徴を関連づけて指導する。

## <理科>

### 【領域別】

《物質》《エネルギー》《生命》《地球》の4領域のうち《物質》は全国・県平均を大きく上回ったものの、その他の領域では全国平均を下回る結果となった。特に《生命》に関しては全国平均を6ポイント程下回り、課題が明らかになった。

### 【問題1】（正答率：32%）

問題（領域〔4学年〕生命・地球）

ゆりえさんは午後8時に月を見つけました。（正面に月が見えています。）まことさんは東の空を見ていて、90°右の方向に月が見えるそうです。

ゆりえさんが見ている方位についてどのようなことが考えられますか。

- 1 北を見ている。 2 南を見ている。  
3 西を見ている。 4 まことさんと場所がちがうので、方位はわからない。

正答

2

要因

月の出る方位や動きが理解できていない。実際に月や正座の動きを時間をおって観察した経験が不足していることも要因の一つ。

改善策

ICTを活用し、太陽や月、星の動きや方角を実感させる授業を展開すると共に、基礎的な知識・理解を定着させていく。

### 【問題2】（正答率：48%）

問題（領域〔5学年〕物質・エネルギー）

ふりこの時間をおくれないようにするためには、ふりこ時計のおもりをどのように調整するとよいですか。1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 おもりの動き始めの位置を上げて、ふれはばを大きくする。
- 2 おもりの動き始めの位置を下げて、ふれはばを小さくする。
- 3 おもりをじくに沿って上げる。
- 4 おもりをじくに沿って下げる。

正答

3

要因

振り子運動の規則性を的確に捉えきれていない。時計の調整に適用することと理科のおもりの実験から学んだ知識を活用できていない。

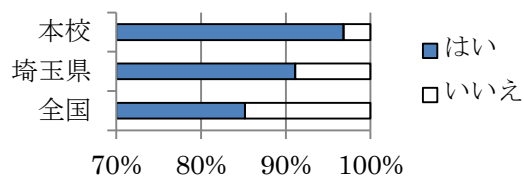
改善策

知識を身の回りの現象に当てはめて考える思考の過程を言葉で整理するなどして、実験結果と日常生活の中での現象を関連づけて捉えられるように授業を展開していく。

## <質問紙調査から>

### 【質問 1】

授業では話し合う活動をよく行っていたと思いますか。



授業で話し合う活動が積極的に取り入れられているが、学力向上に結びついていない。

#### 要因

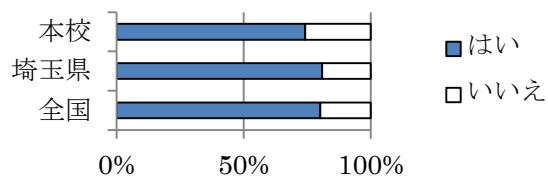
ペアや少人数での「学び合い」を本校の学力向上に向けたキーワードとして取り組んできたため、「はい」の割合が高い。

#### 改善策

学力向上につなげるため、話し合い活動の質を高め、より能動的に学習に取り組む授業を展開していく。

### 【質問 2】

授業以外で読書をしていますか。  
(「いいえ」は全くしない)



全く読書をしない児童の割合が全国・県平均と比べて高い。

#### 要因

学校図書館の貸し出し冊数が少ない。休み時間は外で元気に遊ぶことを奨励していることも要因である。読書をする習慣が身につけていない児童が多い。

#### 改善策

学校図書館の積極活用と充実。学校と家庭で連携した読書習慣づくりを進めていく。また、図書による調べ学習を充実させる。図書担当は学級単位で図書館を利用するなど、本に触れる機会を意図的に増やすことを企画する。

## <埼玉県学力・学習状況調査の概要>

※「平成27年度 全国学力・学習状況調査等実施要項」(埼玉県教育委員会)より抜粋

### 1 調査の目的

本県の児童生徒の学力や学習に関する事項等を把握することで、教育施策や指導の工夫改善を図り、児童生徒一人一人の学力を確実に伸ばす教育を推進する。

参考「平成27年度 全国学力・学習状況調査リーフレット」(埼玉県教育委員会)

### 2 調査対象

小学校第4・5・6学年、中学校第1・2・3学年 原則として全児童生徒

### 3 調査実施日

平成27年4月16日(木)

### 4 調査の内容

#### (1) 教科に関する調査

小学校第4学年から第6学年まで 国語、算数  
 中学校第1学年 国語、数学  
 中学校第2学年及び第3学年 国語、数学、英語

※ 学習指導要領に示された内容のうち調査する各学年の前の学年までの内容

#### (2) 質問紙調査

学習意欲、学習方法及び生活習慣等に関する事項

## 本校の調査結果の概況

国語	第4学年			第5学年			第6学年		
	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率
話すこと・聞くこと・書くこと	3	38.9%	47.2%	3	74.5%	68.6%	3	62.9%	63.8%
読むこと	18	53.1%	53.5%	18	71.2%	73.7%	18	77.1%	73.9%
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	27	65.0%	69.1%	27	70.7%	73.1%	27	71.0%	67.2%

算数	第4学年			第5学年			第6学年		
	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率
数と計算	27	76.1%	68.4%	22	69.9%	73.5%	21	64.1%	66.1%
量と測定	8	67.6%	63.9%	8	51.8%	53.3%	8	55.8%	52.5%
図形	8	60.6%	55.3%	8	54.4%	58.3%	8	61.3%	59.4%
数量関係	8	78.2%	78.2%	8	63.8%	69.5%	9	50.3%	51.0%



<児童への質問紙調査> (主な結果:「規律ある態度」に関する項目の結果)

※ 達成率:「できる」「よくできる」「だいたいできる」の合計)と回答した割合

上段:本校の達成率、下段:県の達成率、        は80%以上

内容	項目	第4学年	第5学年	第6学年	
○けじめある生活ができる	1 時刻を守る				
	① 登校時刻	96.3	97.1	100	
		95.3	96.4	96.7	
	② 授業開始時刻	98.1	97.1	95.2	
		96.3	97.1	97.8	
	2 身の回りの整理整頓をする				
	③ 靴そろえ	79.6	92.6	88.7	
		88.8	89.9	90.9	
④ 整理整頓	94.4	89.7	95.2		
	87.0	87.6	87.6		
○礼儀正しく人と接することができる	3 進んであいさつや返事をする				
	⑤ あいさつ	90.7	88.2	87.1	
		84.8	84.5	84.6	
	⑥ 返事	98.1	94.1	87.1	
		93.3	92.7	92.0	
	4 ていねいな言葉づかいを身に付ける				
	⑦ ていねいな言葉づかい	92.6	88.2	93.5	
		91.2	91.5	92.0	
⑧ やさしい言葉づかい	88.9	83.8	90.3		
	87.8	88.4	87.6		
○約束やきまりを守ることができる	5 学習のきまりを守る				
	⑨ 学習準備	68.5	89.7	88.7	
		84.0	89.4	89.1	
	⑩ 話を聞き発表する	88.9	89.7	83.9	
		86.4	83.1	79.3	
	6 生活のきまりを守る				
	⑪ 集団の場での態度	90.7	85.3	93.5	
		90.5	90.6	91.1	
⑫ 掃除・美化活動	98.1	88.2	90.3		
	94.4	92.6	92.2		

## 本校の学力向上の取組

### テスト結果の考察

#### 全国・県のテストからの本校児童の課題

結果の分析を行うと、各教科に共通し、『読む力』を身につけることが1番の課題と考えられる。活用の問題（B）は説明文が長く、問題から前提となる条件や聞かれていることを読み取ることが難しい。記述式の設問では、説明をする際に、思いついた言葉で表現するのではなく、問いの内容を的確に押さえ、事実と感想・意見などの関係を押さえて表現するという学習も必要であろう。また、条件を整え、事象を捉え、比較しながら考察するなどの学習がどの教科においても大切だ。複数の実験結果や考えを関連づけて結論を出す等の学習は、まとめを自分の言葉で表現するとともに、理由や根拠を明確にしたまとめに近づけるために学び合いが有効なのではないかと考える。

また、B問題への対策としては、誤答例を活用して間違えの理由や正答の根拠を学び合うなど知識の定着だけでなく学習を全学年で取り組めるとよいと感じた。

#### 全国・県のテストからの本校児童の具体的な課題

『記述式』の正答率が低く、無解答率が高い。

##### 【国語】

- ・「書くこと」
- ・文法（主語、述語の関係・修飾語と被修飾語の関係・指示語の指す言葉等）
- ・語彙（ことわざ・慣用句）
- ・同音異義語（文脈にあった漢字を選ぶ…漢字の意味と熟語の意味を関連づけることが苦手）
- ・段落相互の関係の読み　・要旨やまとめの読み取り

##### 【算数】

- ・4年…数学的な考え方がやや弱い。単位の換算や量感、分数と小数の大小比較・数直線。
- ・5年…全体的に苦手。特に図形・量と測定の基本は再確認。わり算。  
2つの数量を□や△を使って式に表すこと。
- ・6年…割合・百分率。式の意味。グラフを活用すること。

### 授業における取組

#### 1 個別指導の徹底

- (1) チームティーチングや少人数指導などきめ細やかな指導をします。
- (2) 単元開始前に児童の理解度を確認します。
- (3) ワークシートを用いた単元ごとの習熟度の確認をします。

#### 2 言語活動の充実

- (1) 全ての教科において、ペア、グループ、クラス全体といった様々な意見交換を根拠を明らかにするなどより学ぶ力に結びつく活動にします。

#### 3 学習に対する態度の育成

- (1) 教材提示や発問の工夫を行い、疑問や探究心を湧き立たせるような教材の選択や指導を行います。
- (2) 「できる」喜びが味わえる授業を展開することで、児童自身が自らの伸びを実感できるようにし、学習意欲の向上につなげます。

## 授業以外の取組

### 1 朝勉強の見直し

- (1) 算数の課題を踏まえて、算数の基礎的なプリントを週1回実施します。
- (2) 国語の課題を踏まえて、木曜日を国語の時間とし本に触れる時間を増やしたり、国語の基礎的なプリントを実施したりします。
- (3) 基礎・基本の確実な定着を目指し、朝勉強でも評価（丸付け・手直し）を確実にを行います。

### 2 家庭学習の習慣化

- (1) 10分×学年は家庭学習の時間を取りましょう。
- (2) 学習に適した環境で時間を決めて毎日取り組みましょう。また、子供のがんばりを家庭・学校で共に認め、励ましましょう。
- (3) 家庭学習の成果を授業で生かしたり、発表したりする場面を設定して意欲を高めます。

## 学力向上に向けた学校の取組

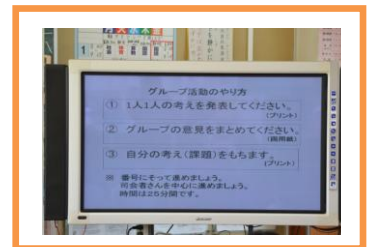
### 1 指導法の改善による学力向上

- (1) 基礎的・基本的な知識・技能の習得（反復練習・具体的な指導）を土台に、
  - ・見通しと振り返りのある授業
  - ・体験的・問題解決的な活動を取り入れた授業
  - ・言語活動（話したり、書いたり、伝えたり等）を充実させた授業を展開します。
- (2) 学び合い（課題の解決に向けた話し合いや教え合い等）を積極的に取り入れた授業を展開します。



### 2 学校全体で取り組む研修による教職員の指導力向上

- (1) 読む力を育み、学習意欲を高める研究を進めています。
- (2) 考え、話し合い、学び合う過程を思考ツール等を使い整理したり、統合したりする研究を進めています。



## 家庭での取組へのお願い

### 1 宿題・家庭学習の励ましと見届け

### 2 読書習慣を含めた基本的な生活習慣を身につけるための働きかけ

- ・早寝早起き朝ご飯
- ・勉強と遊びのメリハリのある時間の使い方指導
- ・時々、新聞や本を話題にする。
- ・必要に応じて持ち物の点検 など



思考ツールを活用した授業



学校図書館の積極的活用



やる気ワクワク週間

本校の学力向上プラン

かのうっ子の「確かな学力」の育成

1 時間毎の授業における具体的な指導法の改善

基礎的・基本的な知識・技能の習得（反復練習・具体的指導）を土台に

見通しと振り返り

体験的・問題解決的な学習の推進

言語活動の充実

＝本校の組織的な研修による確かな学力の育成＝

◎学校課題研究（国語科）～学び意欲を高め確かな学力を育む授業の創造～

読む力を育み、学びを深め、意欲を高める指導法を研究

◎『考え、話し合い、学び合う学習』推進事業～思考ツールを活用した学び合いの創造～

基礎的・基本的な知識・技能の習得と、主体的・協働的な学習を通して、思考力・判断力・表現力や学習意欲を高める研究

課題を解決するための手立て

- 1 わかる授業を展開するために、見通しと振り返りの充実を図り、各教科の特性に応じた授業方法について確認し、実践する。
- 2 他教科や日常の取組との関連を図り、言語活動の充実をより一層高めていく。
- 3 地域の教育力を積極的に取り入れ、体験的・問題解決的な学習を推進し、学び意欲を高める指導の工夫・改善を図る。
- 4 知識・技能の確実な習得のために、個の学びに応じた指導方法・指導形態を工夫する。
- 5 知識・技能の確実な習得のために、保護者と連携し、家庭学習の習慣化、スキルアップと学び方の習得を図る。
- 6 思考力・表現力等（土台となる国語の力）の向上を図るため、学校・家庭が連携し、読書活動を推進する。

具体的方策

I 指導内容・指導方法の工夫

○国語力の土台の育成

- ・国語タイム（名文試写・読解プリント・文法指導等）
- ・読書習慣の確立（環境整備・読書カードの活用）
- ・国語コーナーの充実（語彙を増やす：ことわざ等）

○読む力の育成

- ・学校課題研究を通じた読む力を育む授業実践

○書く力・言語事項の指導

- ・国語辞典の積極活用 ・4段落構成の作文指導

国語

算数

○基礎・基本の定着

- ・計算チャレンジ（四則計算・当該単元の復習を毎時）
- ・家庭学習の手引きの活用と習慣化（家庭との連携）

○個に応じた指導の工夫と改善

- ・少人数指導やTT、必要に応じた補習の実施

○問題を読み取る力と活用する力の育成

- ・聞かれている内容への線引き、表や線分図の活用
- ・ノート指導とICT活用によるわかる授業

全教科領域を通して

○考え、話し合い、学び合う学習の実践

- ・学習意欲を高め、思考力・判断力・表現力等を育成（思考ツールの活用・指導と評価の一体化を図る）

○言語活動を意図的・継続的に取り入れた授業実践

- ・「伝え合う」「書く」活動を積極的に取り入れ、自分の考え等を表現させ、見届け、認める。（理由・根拠を明確に）
- ・読書環境の整備による学習意欲の向上（平行読書を各教科で進められるよう学習室に関連図書コーナーを設置）

<div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"><b>学習環境の整備</b></div> <p>○児童にとって</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の積み重ね、児童の頑張りが見える学習掲示</li> <li>・学習のユニバーサルデザイン（簡潔・視覚にも訴える指示）</li> <li>・教室の整理整頓、学習規律の徹底</li> <li>・学校図書館、PCルームの活用の活性化を図る。</li> </ul> <p>○教職員にとって</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT活用による教材の共有化、事務処理時間の短縮による子供と向き合う時間の捻出を図る。</li> </ul>	<div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"><b>学校生活の充実</b></div> <p>○朝の活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝マラソン、元気タイム、算数・国語タイム等の計画的な実践</li> </ul> <p>○児童会活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の主体的な取組、中学校との連携あいさつ運動</li> </ul> <p>○規律ある態度の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・礼に始まり礼に終わる。・意欲的な清掃活動の取組</li> </ul> <p>○教育相談体制の充実</p> <p>○学校行事を通した一体感・達成感を味わわせる取組</p>
---	---

**II 教育課程への対応の工夫**

○言語活動を充実させる「学び合いマーク」を取り入れた年間指導計画の作成

- ・実践を通して、加除・修正し、実態に応じた学力を向上させる教育課程の編成

○学校課題研究（国語）・考え、話し合い、学び合う学習（学び合い）の取組

- ・児童の言語活動のより一層の充実   ・思考ツールの活用   ・指導と評価の一体化

○各教科間の関連を考慮した単元配当の工夫

- ・調べ方やまとめ方、表現する力を一層効果的に育むため、単元配当を工夫する。

○地域の教育力・家庭の協力を積極的に取り込む教育課程の編成

- ・継続的に活用できるように、地域人材活用ファイルを作成。年間指導計画上にも印をつける。

**III 学習評価の工夫**

○年間指導計画に基づいた評価規準の見直しと改善、全職員による共通理解。

○諸調査結果の分析・考察による児童の実態把握を、指導と評価の改善に生かす。

- ・教務による第1次分析・考察 → 学年担任による第2次分析・考察 → 全職員での共有

○評価計画の作成（形成的評価・個人内評価を行い、個に応じた指導を充実させる。）

○思考ツールの活用による学びの可視化を評価に生かす。（本校の研修実践を通して）

**IV 保護者・地域との連携を通して**

○全国・埼玉県学力・学習状況調査に関する情報や検証結果等を公表し、学校の学力向上への取組を知らせ、保護者・地域への啓発と協力の要請を行う。

<div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"><b>保護者</b></div> <p>○懇談会、個人懇談会等の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の学力についての積極的情報交換</li> </ul> <p>○家庭学習の充実（家庭学習の手引きの活用）</p> <p>○規則正しい生活（早寝・早起き・朝ご飯、決まった時間の学習）</p> <p>○学習ボランティアの依頼（家庭科、生活、総合等）</p> <p>○様々な教育場面での学校公開</p>	<div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"><b>地域</b></div> <p>○学校応援団による効果的な学習支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書ボランティア（本の読み聞かせ）の活用</li> <li>・学習ボランティアの活用   ・環境整備活動への協力</li> </ul> <p>○ゲストティーチャーの活用   ○地域教材の開発・活用</p> <p>○児童を見守る体制   ○学校行事等への協力</p> <p>○小中連携の推進   ○桶川高校生の学習ボランティア</p>
--	---

**中長期的な学力向上を見据えて**

★PDCAサイクルの活用

- ・学力向上に関する諸取組に関して成果と課題を検討し、その後の学習指導の改善に生かすサイクルを全職員で確立する。

★教師の授業力の向上

- ・授業公開週間の設定（教職員間で互いの授業を見合い授業力向上を図る取組）   ・組織的研修による授業力の向上

## 保護者・地域の皆様へ

加納小学校は保護者・地域の皆様のあたたかい見守りとご支援・ご協力をいただきながら日々教育活動を展開しております。これからも学校・保護者・地域が一体となってよりよい学校づくりを目指します。今後とも、よろしく願いいたします。

学校評価アンケートが11月11日に配布されます。ご協力よろしくおねがいします。また、このアンケートの結果を集計し、よりよい学校づくりに生かすとともに、結果と考察を3学期にHPに掲載します。